

# アイリスLetter

## 保護者の皆様へ



2016年10月31日発行  
第6号  
広島女学院中学高等学校

今年7月、イギリスのマンチェスターに住むマイク・スティーブソンさんという方から20枚の絵が学校に届けられました。これは戦後まだ間もない1951年頃、当時の広島女学院中高、14歳から17歳の生徒によって描かれた風景画や静物画で、写実的なものから少し抽象的なものまであり、中々よく描かれた作品です。これらの絵はユネスコの関係で、戦中から戦後にかけて広島女学院の院長をしておられた松本卓夫先生を通してイギリスに送られたものの一部で、他の学校の生徒の作品と共に当時これらの絵を管理していたプリュー・ウォリス・マイヤー(00年没)さんによって“Hiroshima collection”と名付けられ、保存されていました。彼から絵を託された美術教師のスティーブソン氏はこれらの絵をどうにかして元の持ち主に返したいと願い、マンチェスター市から広島市の平和首長会議の仲介を経てこの度の返還となりました。絵の下には鉛筆書きで作者名と当時の年齢が記されており、それらをもとに同窓会の協力を得ながら問い合わせをした結果、判明した倉永恭子さんの、平和記念聖堂(幟町カトリック教会)を描いた作品の返還をすることになり、10月26日に市の関係者立ち合いの許、返還式が行われました。倉永さんは卒業生であると同時に、本校の専属カウンセラーとして永年お世話になった先生ですが、「女学院には文化的な雰囲気がありました。当時の美術教師岡田先生は、生徒に毎月絵の作品を提出させていましたが、そうした中の1枚なのでしょう。その当時まだ建設途中だった平和記念聖堂を描いた記憶があります。私の絵は大したものではありませんが、こうして大切に思い守ってくださった方の心が込められていることが嬉しいです。大切にします。」と、絵との再会を喜んでくださいました。お話をしている中で、更に一名の絵の持ち主が判明するという、嬉しいハプニングもありました。戦後の広島で本校の講堂は講演会や音楽会の会場として使用され、被爆の翌年には女学院等の学生が主体となって音楽会が開かれるなど、女学院は、確かに広島市の文化を担う役割を果たしていたようです。そんな絵の1枚が60年余を経て、故郷の女学院へ、そして作者のもとに帰ってきたことに感慨深いものがありました。これらの絵にはコーティング処理がされて、60年以上経った今も保存状態が良く、大切に取扱われてきたことがうかがわれます。この度の文化祭で一部を展示公開しますので、女学院の歴史を覚えつつ是非ご鑑賞ください。

さて、いよいよ文化祭です。バザー等のご準備で、保護者の皆様方には大きなご協力を頂き感謝しております。創立130周年の記念文化祭を生徒・保護者・教職員の力を合わせて、女学院らしい文化の薫り高いものにしたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

### 聖書の言葉

「あなたのパンを水に浮かべて流すがよい。

月日がたってから、それを見いだすだろう。」

コヘレトの言葉 11章1節

(校長)

## 創立記念礼拝

10月1日(土)、女学院元養護教諭の児玉君江先生より、「女学院とわたし」と題してメッセージをいただきました。

児玉先生は、広島女学院高校第8回生として入学されました。島の公立中学校から一人で広島に出てきて親戚宅に下宿し、孤独と不安の中にいた時に讃美歌と聖句に慰められたといいます。小学校5年生の時に肺炎で死にかけた経験から、看護師をめざし、東京の日赤病院に就職。27歳の時に女学院の養護教諭として戻り、以後33年間、生徒たちの心と体の痛みに寄り添ってこられました。また茶道部顧問を勤め、今も中高茶道部のコーチとしてご指導くださっています。

「人生を振り返ってみて、自分の力は本当にちっぽけだけれど、多くの人々の祈りと支えがあり、またその背後に大きな神様の力があってここまで歩んでこられた。『わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。』という聖句は、私たちの成長の背後に神様がいて下さることを示している。これから一人の人間としてどのように歩んでいくのか、限られた時間を自分らしく、自分を大切に、自分の足で、最後まで歩いてください。神様の導きをお祈りします。」と語られました。



(宗教教育委員会)

## 学年行事の報告

### 《中1》バイブルデイキャンプ

中1は午前中ゲーンズホールでバイブルデイキャンプを行いました。「イエスと私た

ち—イエスとの出会いから私たちの生き方を考えよう—」をテーマとして、まず映画「ジーザス」を鑑賞しました。1学期から生徒たちが読んできた「ルカによる福音書」の内容をより深く理解できたと思います。後半は聖書から生徒たちが自分たちなりに受けとめて考えたイエス様の生き方や教えを劇にして、各クラスの代表グループが発表しました。ゲーンズ先生や人気タレントが登場するなど現代風にアレンジした劇は面白くて、みんなの喝采を浴びましたが、それぞれの劇が伝えるメッセージは私たちにしっかり伝わってきました。この聖書劇に取り組んだ思い出は卒業した後も残っていくことでしょう。午後からは、お弁当を持って中央公園へ歩いて遠足に出かけました。公園内は予想以上に草が伸びていてびっくりしましたが、生徒たちは元気に野原でドッジボールをしたり、鬼ごっこをして楽しいひと時を過ごしました。

(中1 学年会)

### 《中2》秋の遠足

中2の遠足は、クラスごとに行き先や現地での活動を企画しました。各クラスHR委員を中心に、LHRの時間を使って現地でのルールや集合時間、当日のレクリエーションの内容まですべて自分たちで考えました。行き先は、1組は江の川、2・3組は備北丘陵公園、4・5組はもみの木森林公園、6組は宮島でした。当日は天候にも恵まれ、各クラス予定通りに行くことができました。生徒の主体性を引き出すことを目的とした今回の取り組みが、普段の生活にも活かされていくことを期待しています。

(中2 学年会)



### 《中3》長崎研修旅行

初日は台風に出くわしましたが、幸い雨足も弱く、2日目以降は半袖でも暑いくらいの陽気となり、天候に恵まれた3日間となりました。

1日目は出発式を行った後、新幹線・バスにて一路長崎へ。到着後は平和公園周辺で最初の班別研修。原爆資料館を中心に、平和に関する場所を見学しました。台風の影響で例年より原爆資料館の観覧者が少なく、生徒たちも足を止めながらゆっくりと見学することができました。ホテルに到着した後は、語り部の方の貴重なお話を聞かせてもらいました。話を聞く生徒の真剣な表情が印象的でした。

2日目は、落下中心地碑での平和セレモニーを終えた後、班別自由研修を行いました。この日は長崎の歴史や文化に触れることが目的でした。午前・午後合わせて約5時間の班別研修では、それぞれの班のテーマに合わせて、長崎特有の外国文化の入り混じった街並みを、自分の目で見て、感じることでできる一日となりました。

最終日はハウステンボスでの班別行動でした。アトラクションやお土産選びを楽しむ姿や、自分たちで好きなものを買って昼食をとる姿など、とても楽しんでいる様子が見られました。

この研修旅行で体験した、自らが課題をもって長崎の街を歩く学習は、一人一人にとって意義深いものだったと思います。また、時間を守る、人の話を静かに聞く、周囲のことを考えて行動するなど生活面でも確かな成長が感じられました。旅行委員の生徒や旅行会社の方など、沢山の方々の協力のおかげで無事研修旅行を終えることが出来ました。この成果は「平和レポート」と「文化レポート」の2つのレポートに結実するはずです。班で協力してよいものができることを期待しています。文化祭で優

秀作品を展示しますので、ぜひ御覧ください。



(中3学年会)

### 《高1》遠足

高1は高校初のクラス別遠足。HR委員を中心に夏休み前から候補地を探していました。A組：秋吉台サファリランド、B組：平田観光農園、C組：世羅高原農園&世羅ファーム、D組：宮島、E組：八天堂パン作り&空港付近散策。A組は安佐 zoo 希望の担任の思いを汲んで、より hard な zoo を choice。他4クラスは「とにかく現地で何か食べる！」という concept。どのクラスも大満足の笑顔で帰ってきました。台風一過のさわやかな秋空の下、ほっと一息つけた楽しい遠足となりました。

(高1学年会)

### 《高2》沖縄修学旅行

10月4日(火)～7日(金)の4日間、渡辺教頭を団長として、高2生徒と教員の計232名で沖縄に修学旅行へ行ってきました。前日3日までの台風の影響で、飛行機の欠航が危ぶまれましたが、無事に出発することが出来ました。

前半2日間は平和学習です。沖縄を巡る歴史や問題について1学期からしっかりと事前学習をして臨みました。現地ガイドさんのお話を聴き、現地学習でしか得ることができない沖縄の方の想いを全身で感じることができました。平和祈念公園やひめゆり平和祈念資料館では一つひとつの資料をじっくりと見るなど、生徒たちの「沖縄」に真剣に向き合う姿がとても印象的でした。

また、今年で3回目となる沖縄尚学高校との交流会では高校生ならではの率直な意見も交わされ、ディスカッションを中心とした活気あふれる会となりました。参加した50名はとても充実した時間を過ごしたようです。事前&現地学習を経て次にどうつなげていくのか今後が楽しみです。

後半は沖縄の自然と文化を楽しむ行程です。美ら海水族館では豊かな海と巨大なジンベイザメに圧倒されました。体験学習では天気にも恵まれ、シュノーケリングやシーカヤックに繰り出し、シーサー・パインジャム・沖縄菓子・美ら海キャンドルを作ったりと、どの体験も充実したものとなりました。最終日は那覇市に戻り、首里城を見学し、国際通りや公設市場の散策を楽しみ、別れを惜しみながら広島への帰路につきました。

修学旅行を無事に終えることができたのも、生徒一人一人が自制心を持ち、周りを気にかけて行動ができたおかげです。この団体旅行を通して生徒たちはまた一回り成長したと感じました。事前準備や送迎など支えてくださったご家族や全ての関係者の方々に感謝いたします。



(高2学年会)

### 《高3》遠足でリフレッシュ！！

毎日受験勉強と向き合っている高3生たちも、今日だけは「みろくの里」で思いっきり遊んでリフレッシュ！ジェットコースター、バイキング、回転ブランコなど、余すところなく楽しみました。優雅な「ティ

ーカップ」を高速回転させる強者も。園内には昭和30年代のセットがあり、駄菓子やグッズもレトロ感満載です。テレビでしか見たことのない家電もたくさん展示され、とても新鮮でした。



(高3学年会)

### 日米・高校生平和会議

9月15日(木)～21日(水)、署名実行委員会に所属する高2生2名、高1生2名がアメリカ・ニューヨークとボストンで開催された日米・高校生平和会議に参加しました。首都大学東京の渡邊英徳先生が制作された「ヒロシマ・アーカイブ」事業において、署名実行委員会の生徒は2011年より被爆者の方々の体験収録のお手伝いをしています。この度、渡邊先生がハーバード大学の客員研究員として4月～9月の半年間在籍されたのに合わせ、会議を開催されました。アメリカの高校生に被爆者の証言を通して被爆の実相を学ぶ機会を与え、アーカイブの更なる活用方法をともに考えることを目的としたこの会議には、延べ100名以上の高校生、一般市民が参加し、大変有意義な会議となりました。

会議は3回実施されました。1回目はニューヨークの国連本部内にある国連軍縮部です。本校卒業生のサーロー節子さんがカナダから駆けつけて下さり、ご自身の被爆体験と平和活動についてお話してくださいました。2回目はハーバード大学内サイエンスセンター、3回目はボストン市立図書館です。ボストン会場には本校の元聖書科

の藤本治祥先生がロサンゼルスからわざわざおいでになり、被爆体験と信仰についてお話してくださいました。お二人ともこの会議で若い世代の取り組みや姿勢を高く評価してくださいましたが、会議を成功に導いてくださったのは他ならぬこの二人の被爆者でした。素晴らしい出会いとなりました。

日本から参加した高校生は本校以外では長崎・活水高校と東京・工学院大学附属高校でした。それぞれの平和活動を発表し、アメリカの高校生に大きな刺激を与えたようです。特に歴史観は国や教育を通して作られていくことを認識し、お互いの視点を教えあうことがより公平な歴史観につながることで、また、本校の取り組みのように高校生の段階で具体的に平和に関する活動ができることなども話し合いました。

今回の会議は日程がとてもタイトで、特にボストンは会場以外を見て回ることができませんでしたが、街全体がとても落ち着いた雰囲気、アメリカ最古の教会や学校(Boston Latin School)を訪問することができました。特にボストンラテンスクールでは授業に参加させてもらったりするなど、アメリカの学校生活を垣間見ることができ、良い体験になったようです。ニューヨークでは9.11メモリアルを訪れ、市民がテロの犠牲になることの悲しみ的一端に触れることができました。

今回のアメリカでの会議参加にあたり、国際交流基金の審査を経て70万円の助成金を得ることができました。また、首都大学東京が実施してくださったクラウドファンディングからも支援をしてもらうことができました。現地では地道に平和活動を実践している多くの人に出会うことができました。また、サーローさん、藤本先生だけでなく、広島女学院の卒業生にもお会いでき、本校のスピリットが様々なところで息づい

ていることを感じる研修旅行となりました。



(グローバル教育推進部)

## キリスト教強調週間・主題講演の 保護者開放のご案内

今年度のキリスト教強調週間は、11月14日(月)～19日(土)、「あるがままのいのち～いのちをゆだねる恵み～」というテーマで実施いたします。11月15日(火)は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが組まれます。

主題講演講師、川越厚先生は、広島学院から東大医学部を出て、最先端の医療現場で働いておられましたが、ご自身が39歳で結腸がんを患い、体力的に第一線に戻ることができず、在宅訪問医療に転じられました。自宅で最期まで過ごしたいと願う末期がんの患者と出会い、試行錯誤で体と心の痛みを緩和し、介護するご家族を支えてこられました。在宅ホスピスのパイオニアとして、『NHKプロフェッショナル仕事の流儀(2014.11.17)』でも紹介されました。死という厳しい事実と向き合いながらも、「人はどんな時でも希望をもって生きられる存在」と笑顔を絶やさずにいられるのは、神様という「いのちをゆだねる存在」があるからだと言われます。

保護者の皆様にも主題講演を開放いたします。例年、多くの生徒たちの心に残る女学院ならではの深い出会いの機会を、ぜひお子様と共に分かち合ってくださいと思います。

また先生の著書をご要望の方は、お子様を通じて聖書科までお申し出ください。

「いのちとの対話—生と死の現場から—」

(日本基督教団出版局) 1,300円

「ひとり、家で穏やかに死ぬ方法」

(主婦と生活社) 1,300円

※上野千鶴子氏推薦

日時：11月15日(火)

高校主題講演 9時25分～10時35分

中学主題講演 10時55分～12時05分

場所：ゲーンホール

生徒席の後ろや補助席にお座りください。なお、生徒たちが講演に集中できるよう途中の出入りはできるだけお控えいただきますようご協力お願いいたします。

(宗教教育委員会)

## 中学生最終下校時刻変更のお知らせ

文化祭終了後の11月4日(金・振替休日)より、中学生の最終下校時刻が17:30となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

(中学生徒会)

## 保健室だより(6)

### ～インフルエンザに関することと、 2学期の心の健康相談について～

インフルエンザやかぜの流行する季節となつてまいりました。

予防接種、人込みを避ける、手洗い、うがい、栄養をとる、マスクを着用するなどの予防は、もちろんですが、周囲の感染状況をみて、体調が悪ければ無理をしないで休息をしっかりとり、発熱してだるい時は無理して登校しないということも大切かと思いま



万が一、インフルエンザにり患した場合は、学校のホームページにある学校感染症治癒証明書か、各病院で治癒したことの証明をしていただき、担任に提出して登校してください。

また、11月24日(木)15時30分～17時30分まで、1件あたり、30分ずつ「心の健康相談」が実施されます。さくらクリニックの杉山信作医師による相談です。希望される方は、保健室までご連絡ください。

あらかじめ、相談内容を記載していただき、当日それをもってきていただいて、医師と相談することになります。

(保健室)

## 心の健康(6)

夏はとても暑く、今年は寒くならないのかと思つていましたが、10月の末から寒くなってきました。自然界の営みを感じます。

11月初旬には保護者も加わった学校行事があり、それが終わると月末の冬を迎える準備まで3週間は、秋から冬へと移っていく良い季節です。木の葉は紅葉し、自然の美しさを見せてくれます。この美しさは人の心にちょっとした感動を与えてくれます。

11月は紅葉した秋の木々の葉を見、色を楽しんで、心が開放されていくのを味わってみましょう。

(カウンセラー)



## 生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

\*第65回広島県中学校総合体育大会

**団体** 優勝

◇中学放送部

\*第33回広島市中学校放送コンテスト

**団体**: ラジオ番組制作部門

「ふわり、お日さまのにおい」 3位

テレビ番組制作部門

「重きもの、汝の名はカバンなり」 4位

総合成績 2位

**個人**: アナウンス部門

N・R (3-3) 6位

N・A (3-2) 入選

朗読部門

K・H (3-4) 3位

◇中学合唱部

\*第55回中国合唱コンクール 銀賞

◇個人の活躍

\*広島市中学校新人水泳競技大会

G・R (2-5)

100m 自由形 8位

K・Y (1-1)

400m 自由形 3位

100m バタフライ 4位

\*ベートン音楽コンクール中国地区本選

O・C (2-6)

優秀賞 ⇒ 全国大会出場

\*第66回全国小・中学校作文コンクール

広島県審査 (中学校の部)

W・M (2-3)

「広島八月」 最優秀賞

《高校》

◇高校ソフトボール部

\*広島県新人ソフトボール大会

広島地区予選会 第2代表決定戦

女学院 23 - 0 新庄

女学院 5× - 4 五日市・安芸南

◇個人の活躍

\*広島県高等学校新人水泳競技大会

T・M (1-A)

400m 個人メドレー 2位

200m 個人メドレー 3位

\*第4回中国高等学校新人水泳競技選手権大会

T・M (1-A)

400m 個人メドレー 5位

200m 個人メドレー 6位

\*第38回ハイスクール・ミュージック・コンサート

H・M (1-C) ヴァイオリン

N・Y (1-E) ピアノ

T・H (3-A) ピアノ

以上3名、優秀賞受賞

\*2016年広島県内高校生韓国語スピーチ大会

K・R (2-C) 金賞

教職員の動向

○10月1日に英語科の前瑛子先生に女兒が誕生されました。おめでとうございます。結美子(ゆみこ)ちゃんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

○国語科の寺本恵理子先生が9月22日に結婚されました。おめでとうございます。新家庭の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

今月の聖句

「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物より大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。」

マタイによる福音書6章25、26節

(聖書科Y. I)

11月行事予定

1	火	5,6限 中2論理力評価テスト
2	水	文化祭準備日(授業なし) (中3,高1,2出校日)
3	木	文化の日 文化祭
4	金	振替休日(文化祭) 最終下校時刻変更(中)17:30、(高)18:00
5	土	(午後)高3へネット駿台マーク模試
6	日	
7	月	面接週間(40分授業)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	キリスト教強調週間
15	火	特別プログラム(授業なし)
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	45分授業 1限8:40～ キリスト教強調週間特別礼拝
20	日	
21	月	
22	火	45分授業 参観日 高1,2スピーチコンテスト(7限～)
23	水	勤労感謝の日 広島県高等学校ギターマンドリンフェスティバル
24	木	
25	金	
26	土	選択科目1号用紙提出 父親母親教室
27	日	アドベント(～12/24)
28	月	
29	火	
30	水	

10月26日に行われた

絵の返還セレモニーにて



～ マンチェスターから返還された絵の一部を掲載します～

